

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている」

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	→

（注）令和3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、宿泊や飲食サービスが弱含んでいるものの、スーパー販売額が前年を上回っているなど、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、輸送機械が減少しているものの、生産用機械、汎用機械が増加しているなど、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	→
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	→
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→

設備投資	2年度は減少見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	2年度は減少見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	→
企業収益	2年度は減益見込みとなっている（全規模ベース）	2年度は減益見込みとなっている（全規模ベース）	→
企業の景況感	「上昇」超となっている（全規模・全産業ベース）	「下降」超となっている（全規模・全産業ベース）	↘
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	↘
輸出	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染拡大等が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている」

スーパー販売額などは前年を上回っている。百貨店販売額は前年を下回っているものの、足下で持ち直しの動きがみられる。コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額は前年を下回っている。乗用車の新車登録届出数は、小型車が前年を下回っているものの、普通車、軽乗用車が前年を上回っており、全体として前年を上回っている。宿泊や飲食サービスなどは、弱含んでいる。

このように個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。

(主なヒアリング結果)

- 巣ごもり需要が一巡し、2月以降の売上は前年比でマイナスとなっているが、感染症拡大前と比較すると同程度の水準であり、内食需要は引き続き堅調。(スーパー、大企業)
- 年末までの回復ムードが年明けの緊急事態宣言発出により状況が一転し、外出自粛ムードが高まり来店客数が悪化。一方で、2月以降、高額品を中心に回復をみせている。(百貨店、大企業)
- 2度目の緊急事態宣言発出の影響で、在宅勤務や外出自粛が増加し、オフィスや繁華街、行楽地を中心に客数が再び減少、おにぎりやソフトドリンク等の売上が苦戦している。(コンビニエンスストア、大企業)
- 1月の緊急事態宣言発出による外出自粛の影響で、都心部や繁華街の店舗を中心に売上が減少している。また、風邪薬や化粧品は引き続き苦戦しているが、3月に入り花粉症関連の商品に動きが出てきている。(ドラッグストア、大企業)
- 感染症を避けた移動手段として自動車が選ばれていることもあり、足下においても売上は前年を上回る水準で推移している。半導体不足の影響は今のところ表面化していないが、今後、納車時期が後ろ倒しになる可能性がある。(自動車販売、中堅企業)
- 国内旅行は、感染症の影響が色濃く残り、人の動きもまだまだ鈍い。春シーズンや5月の大型連休の予約状況も低調となっている。(旅行、大企業)
- 宿泊に関しては、緊急事態宣言解除による変化はまだ見えず様子見といったところ。また、昼の会食需要は戻りつつあるものの、時短営業が継続することもあって、夜の会食はまだまだ厳しい。(宿泊、中堅企業)
- 首都圏などビジネス客を対象とする駅前店舗の売上が減少した一方で、家族連れや個人をターゲットにした郊外型の店舗では昼間を中心に堅調となっている。(飲食サービス、中堅企業)

### ■ 生産活動 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、輸送機械が減少しているものの、生産用機械、汎用機械が増加しているなど、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

なお、非製造業では、リース業の取扱高、情報サービス業及び広告業の売上高いずれも前年を下回っている。

- 1月に入り、半導体の世界的な供給不足の影響が出始め、2月も米国の寒波により樹脂製品が供給不足となったことから、大きく減産した。足下でも半導体不足の影響により、生産ラインの一部を停止するなど影響が出ている。(輸送機械、大企業)
- 半導体不足の影響を受け、海外からの半導体製造装置の需要が拡大しており、ここ数か月はフル生産となっているなど、需要に生産が追い付かない状態が続いている。(生産用機械、大企業)
- 工場向けの空気圧縮機は、1月以降、米国を中心とした海外からの受注が増加しており、足下の生産は前年を上回っている。(汎用機械、大企業)

### ■ 雇用情勢 「下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は上昇しているものの、完全失業率は前年を上回る水準で推移しているなど、雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

- 感染症の影響による業績悪化で厳しい状況にあったが、その後の半導体市況の改善で受注が増加し、人手不足感が強まっている。(製造業、中小企業)
- コロナ禍による宿泊客の減少から従業員の過剰感は続いており、雇用調整助成金を活用しながら、勤務日数や勤務時間を減らすことで雇用の維持を図っている。(宿泊、中小企業)

### ■ 設備投資 「2年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 製造業では、情報通信機械などで増加見込みとなっているものの、自動車・同附属品、食料品などで減少見込みとなっていることから、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業では、金融業、保険業などで増加見込みとなっているものの、不動産、運輸業、郵便業などで減少見込みとなっていることから、全体では減少見込みとなっている。

- 感染症の影響による収益悪化に伴い、設備投資を絞り込んだことから減少見込み。(自動車・同附属品、中堅企業)
- 東京オリンピックに関連した大型案件の竣工が多かった前年度に比べ、2年度は同様の案件がなかったことから減少見込み。(不動産、大企業)

### ■ 企業収益 「2年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 製造業では、石油製品・石炭製品などで増益見込みとなっているものの、化学、自動車・同附属品などで減益見

込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。  
 ○ 非製造業では、卸売業などで増益見込みとなっているものの、運輸業、郵便業、建設業などで減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

○ 大企業、中堅企業は「下降」超に転じ、中小企業は「下降」超幅が拡大している。  
 先行きについては、全規模・全産業ベースで7-9月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、貸家及び分譲住宅は前年を下回っているものの、持家は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

- テレワークの増加により、部屋数や広さを求める層の需要の高まりが追い風となっているなど、郊外向けを中心に注文住宅の回復基調が継続している。(建設、中堅企業)
- 駅近で利便性の良い土地が不足しており、大規模な分譲戸建住宅の販売が難しくなっている。(建設、大企業)

■ **公共事業** 「前年を下回っている」

○ 前払金保証請負金額をみると、国は前年を上回っているものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を上回っている」

○ 通関実績(円ベース、東京税関と横浜税関の合計額)でみると、輸出は前年を上回っている。  
 なお、輸入も前年を上回っている。

■ **倒産** 「企業倒産は、件数は前年を下回っているものの、負債総額は前年を上回っている」

3. 各都県の総括判断

	前回(3年1月判断)	今回(3年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
埼玉県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</b>	➡	個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
千葉県	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により <b>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</b>	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
東京都	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、足下で弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるなか、弱含んでいる</b>	➡	個人消費や産業活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
神奈川県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</b>	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
茨城県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</b>	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある。
栃木県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</b>	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
群馬県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</b>	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるなか、一進一退の状況にある。
新潟県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</b>	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるなか、一進一退の状況にある。
山梨県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる</b>	➡	個人消費は感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
長野県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</b>	➡	生産活動は緩やかに持ち直しており、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある。また、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。